

第19期 中間

イーサポートリンク株式会社

株主通信

2015年12月1日～2016年5月31日

自然の恵みを大切にする技術で

皆様に安心をお届けします

通販のご案内

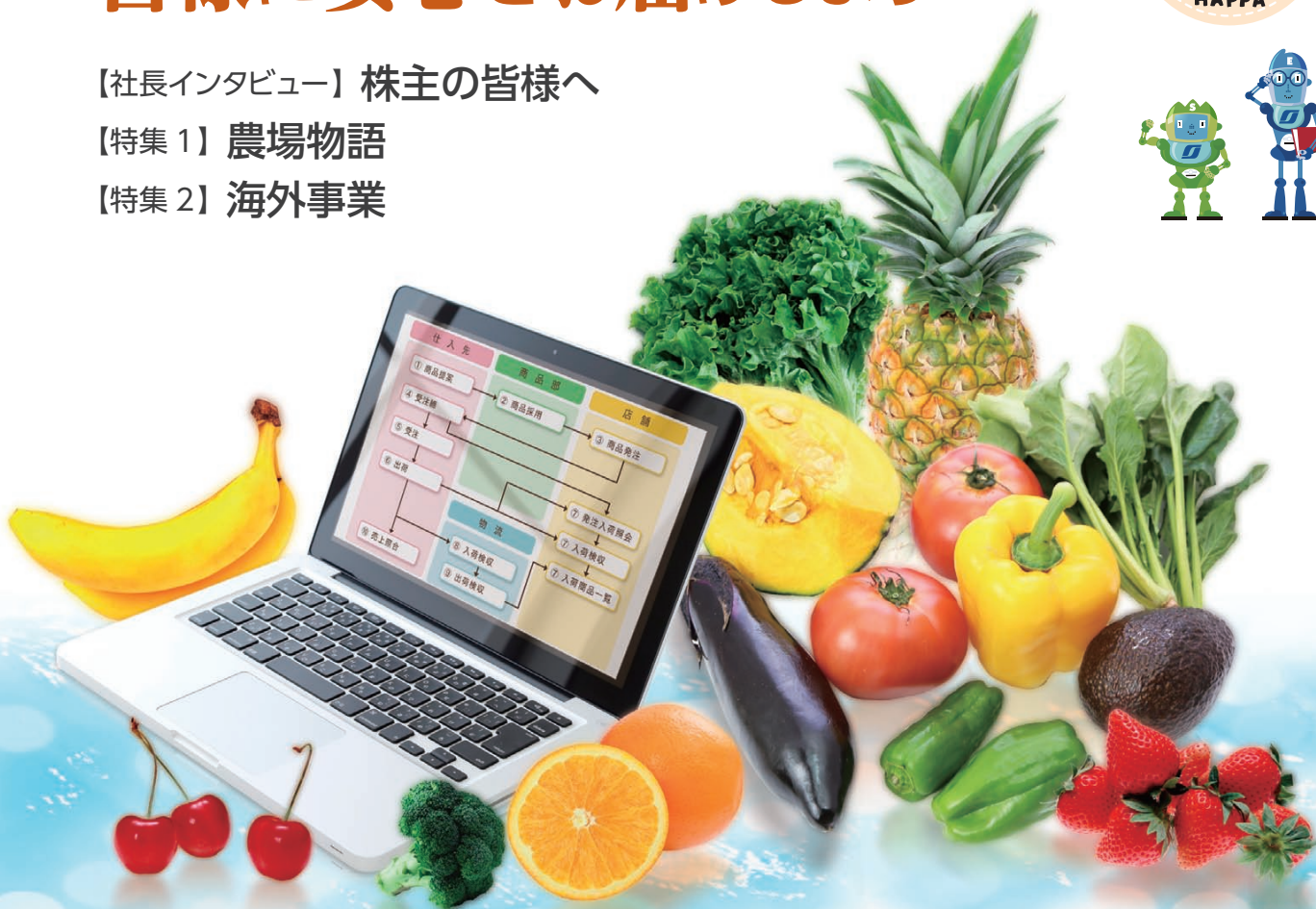
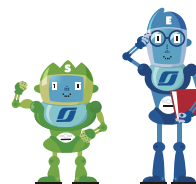


HAPPY
HAPPA

【社長インタビュー】株主の皆様へ

【特集1】農場物語

【特集2】海外事業



証券コード2493

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
第19期中間「株主通信」をお届けするにあたり謹んでご挨拶申し上げます。



日本経済は、地震などの影響もあって、生産においては横ばいで推移しているほか、個人消費は弱含みが続いています。消費税引き上げの再延期が正式に発表されたことは、先行き不透明感の緩和につながると見られています。また、少子化は益々進み、国内消費の構造の変化が推測されています。

当社グループは、これからの成長戦略を具体的に構築していくために組織変更をおこない、イーサポートリンクシステムVer.2の稼働と、生鮮MDシステムの導入拡大、また新規事業開発のためのプロジェクトを前期から立ち上げ、取り組んでいます。

第19期第2四半期連結累計期間の業績につきましては、主にシステム事業における運用保守費用や減価償却費の減少などにより、売上高22億43百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益2億69百万円（同18.7%減）、経常利益2億63百万円（同25.1%減）、四半期純利益1億46百万円（同15.4%減）となりました。

なお、第19期通期の業績予想につきましては、当社グループを取り巻く生鮮青果物流通業界の環境が依然として不透明なため、2016年1月14日に公表しました予想数値を据え置いております。

日本の農業をとりまく環境は、2020年の東京オリンピックを見据え、青果業界において日本食向けの国産農産物のニーズが高まり、トレーサビリティ（情報追跡）の構築や有機野菜の普及活動が展開されはじめています。また、TPPによる農作物の関税撤廃、農作業者の高齢に伴う後継者不足、耕作放棄地の増加による農地の荒廃など、引き続き課題が山積みとなっています。そういった課題解決のために、国が国内農業の発展に力を入れ、今年4月に農地法が改正されました。これにより法人が農業参入しやすくなり、実際に参入企業数は増加傾向にあります。

このような状況の中、農業に新規参入した大手の事業会社に、国産青果物の生産から流通までの商物流設計を組み立て管理するために、当社のシステムが採用されました。農業に参入される法人が増えると、このような事例が増えてくると考えています。当社が持つ生鮮流通のシステムやノウハウは、益々必要不可欠になっていくものとみています。今後、このような法人や大型生産者組合向けに、さまざまなサービスを展開し、事業を拡大していく考えです。当社は、これまで培ってきた生鮮流通における強みを活かしながら、成長を目指してまいります。

このような状況の中、農業に新規参入した大手の事業会社に、国産青果物の生産から流通までの商物流設計を組み立て管理するために、当社のシステムが採用されました。農業に参入される法人が増えると、このような事例が増えてくると考えています。当社が持つ生鮮流通のシステムやノウハウは、益々必要不可欠になっていくものとみています。今後、このような法人や大型生産者組合向けに、さまざまなサービスを展開し、事業を拡大していく考えです。当社は、これまで培ってきた生鮮流通における強みを活かしながら、成長を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

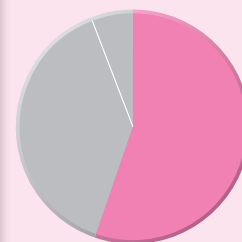


代表取締役社長
堀内 信介

セグメント別概況

売上高構成比

1,240百万円
55.3%



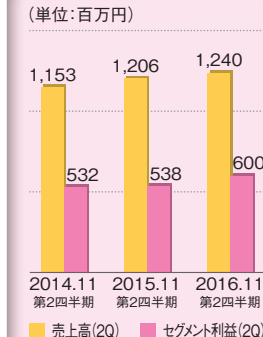
システム事業

業況

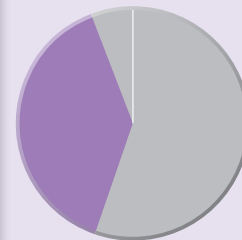
輸入青果物サプライチェーン向けに提供するイーサポートリンクシステムにおきましては、現行システムの安定運用の継続と、イーサポートリンクシステムVer.2のリリースに向けたチューニングを進めてまいりました。大手量販店デマンドチェーン向けに提供する生鮮MDシステムにおきましては、データ件数が順調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は12億40百万円（前年同期比2.8%増）、セグメント利益は6億円（同11.5%増）となりました。

売上高推移



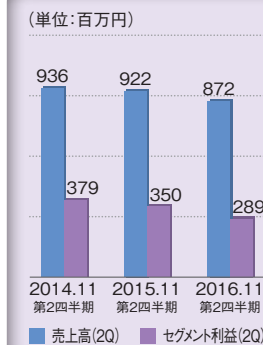
872百万円
38.9%



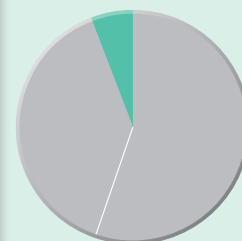
業務受託事業

輸入青果物サプライチェーンの流通合理化を図るため、生産性の向上と業務の安定運用の継続に加え、業務の付加価値を高める取り組みを進めてまいりました。

以上の結果、売上高は8億72百万円（前年同期比5.4%減）、セグメント利益は2億89百万円（同17.4%減）となりました。



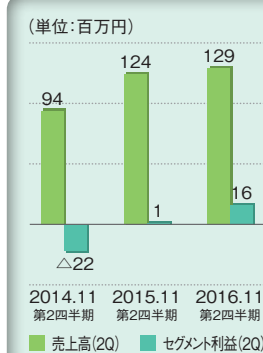
129百万円
5.8%



農産物販売事業

収益力の改善に向けて、新規販売先の開拓、集荷数及び販売数の拡大に努めてまいりました。

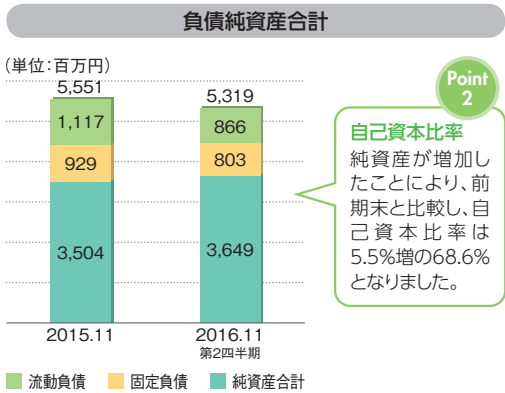
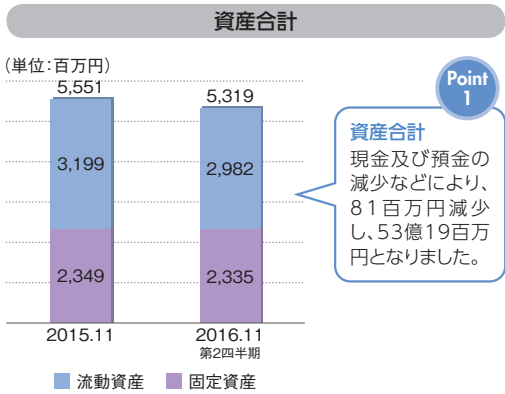
以上の結果、売上高は1億29百万円（前年同期比3.8%増）、セグメント利益は16百万円（同856.7%増）となりました。



四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	第 18 期末 2015年11月30日現在	第 19 期 (当第2四半期) 2016年5月31日現在	増減額
資産の部			
流動資産	3,199	2,982	△217
固定資産	2,349	2,335	△13
有形固定資産	568	523	△45
無形固定資産	1,354	1,398	44
投資その他の資産	425	412	△13
繰延資産	2	2	△0
資産合計	5,551	5,319	△231
負債の部			
流動負債	1,117	866	△250
固定負債	929	803	△126
負債合計	2,046	1,670	△376
純資産の部			
株主資本	3,524	3,670	146
資本金	2,721	2,721	—
資本剰余金	620	620	△0
利益剰余金	182	329	146
自己株式	△0	△0	—
その他の包括利益累計額	△20	△21	△1
純資産合計	3,504	3,649	145
負債純資産合計	5,551	5,319	△231



財政状態に関する分析

資産の部

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末と比べて2億31百万円減少し、53億19百万円（前連結会計年度末比4.2%減）となりました。内訳としては、流動資産が29億82百万円（同6.8%減）、固定資産が23億35百万円（同0.6%減）、繰延資産が2百万円（同21.0%減）となりました。流動資産の主な減少要因は、現金及び預金が81百万円、売掛金が24百万円減少したことによるものです。固定資産の主な減少要因は、ソフトウェア20百万円、ソフトウェア仮勘定が25百万円増加した一方、有形固定資産のリース資産が51百万円減少したことによるものです。

負債の部

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末

と比べて3億76百万円減少し、16億70百万円（同18.4%減）となりました。内訳としては、流動負債が8億66百万円（同22.4%減）、固定負債が8億3百万円（同13.6%減）となりました。流動負債の主な減少要因は、賞与引当金が1億23百万円増加した一方、短期借入金が1億円、未払費用が1億24百万円減少したことによるものです。固定負債の主な減少要因は、社債が30百万円、長期借入金が39百万円減少したことによるものです。

純資産の部

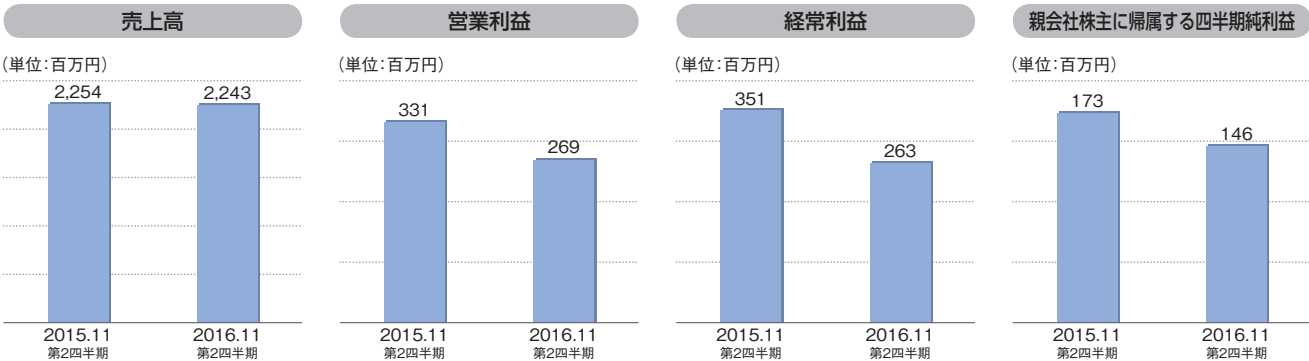
当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末と比べて1億45百万円増加し、36億49百万円（同4.1%増）となりました。この結果、自己資本比率は68.6%となりました。その主な増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を1億46百万円計上したことによるものです。



四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	第 18 期 (前第2四半期累計) 自2014年12月1日 至2015年5月31日	第 19 期 (当第2四半期累計) 自2015年12月1日 至2016年5月31日	増減額
売上高	2,254	2,243	△11
売上原価	1,021	1,076	55
売上総利益	1,233	1,166	△67
販売費及び一般管理費	901	896	△5
営業利益	331	269	△61
営業外収益	26	2	△24
営業外費用	6	8	1
経常利益	351	263	△88
特別利益	—	—	—
特別損失	1	0	△0
税金等調整前四半期純利益	350	263	△87
法人税等	177	116	△60
親会社株主に帰属する四半期純利益	173	146	△26



経営成績に関する分析

当社グループは、効率的な営業活動を実施するとともに、イーサポートリンクシステムVer.2のリリースに向けたチューニング、生鮮MDシステムの導入拡大、将来への投資活動に努めてまいりました。

業績につきましては、生鮮MDシステムの伸長はあるものの、イーサポートリンクシステムの通過量が減少した他、前期にスポット受注が発生したことから、売上高は前年同期を下回る水準となりました。損益

面では、イーサポートリンクシステムVer.2のリリースに向けての保守費・外注費が増加するなどの影響で減益となりました。

以上の結果、売上高は22億43百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は2億69百万円（同18.7%減）、経常利益は2億63百万円（同25.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億46百万円（同15.4%減）となりました。

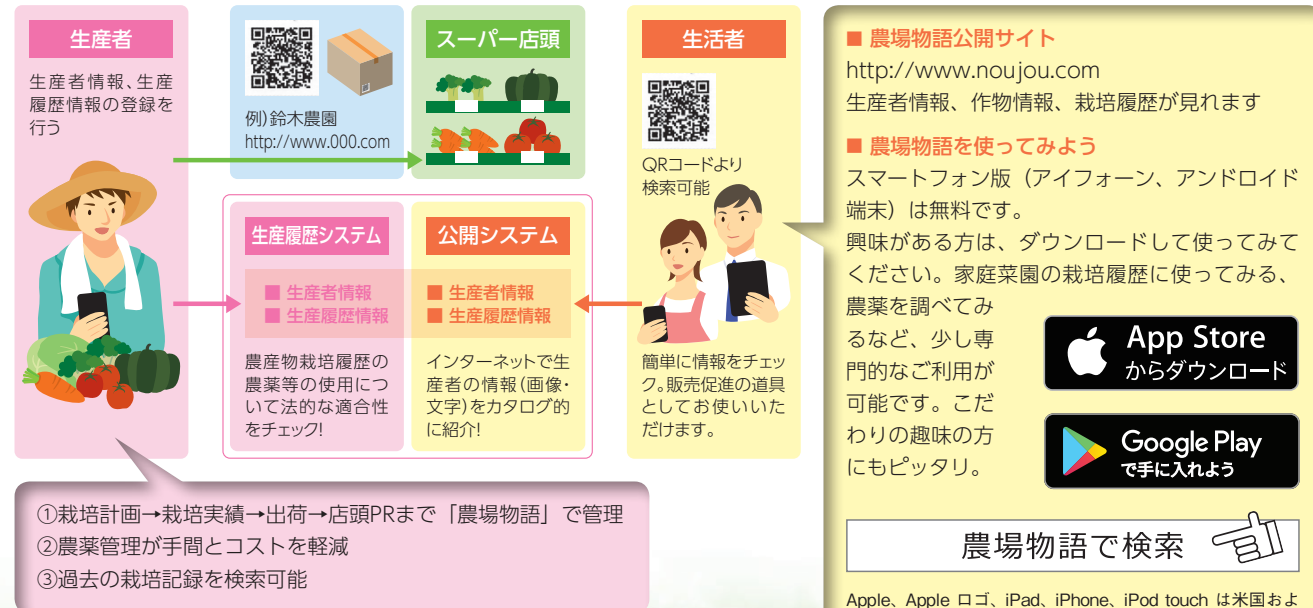
特集1 農場物語について

私たちが日ごろ食している野菜や果物。趣味の家庭菜園でも病気や害虫から作物を守るために適量の農薬などを使用したことがあるかと思います。ましてや農産物を販売している生産者は、「農薬取締法」という法律に基づいて、農薬の散布や管理など、作物を病気や害虫から守るために大変な労力をかけています。

当然、私たちが食するものですから、作物に残留する農薬量が適正かどうかなど、安全安心なものを購入したいですね。

「全ては生産者と生活者のために」を経営理念とする当社は、生産者が農作物を作る際の農薬管理のお手伝いや、こだわり商品を生活者にアピールできる手段を提供するために、生産履歴管理システム「農場物語」を提供しています。

農場物語の仕組み



現在、使用可能な農薬は約4,500種類と言われており、平均して月に3回程、情報が更新されています。

農場物語では、農薬の更新情報が自動で反映され常に最新の情報を提供します。

複数の都道府県の実産者、道の駅直売所、小売量販店の地場野菜コーナーなどにご利用頂いております。



農場物語

農場物語公開サイト

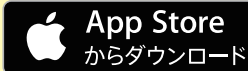
<http://www.noujou.com>

生産者情報、作物情報、栽培履歴が見れます

農場物語を使ってみよう

スマートフォン版（アイフォン、アンドロイド端末）は無料です。

興味がある方は、ダウンロードして使ってみてください。家庭菜園の栽培履歴に使ってみる、農薬を調べてみるなど、少し専門的なご利用が可能です。こだわりの趣味の方にもピッタリ。



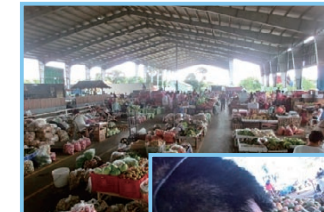
農場物語で検索

Apple、Apple ロゴ、iPad、iPhone、iPod touch は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
Android、Google Play、Google Play ロゴは、Google Inc. の商標です。

特集2 海外事業の取組み

2013年からフィリピンの農業関係者に向けて、当社の保有している流通効率化のノウハウで貢献できることを進めています。フィリピンの生鮮青果物の流通環境は、輸送等での商品の痛みや腐れ、また売れ残りなどで廃棄率は30%~40%(当社調べ)と悪く、状況改善のため国際協力機構（JICA）が進める、日本のIT技術をフィリピン市場や生産者団体に導入するプロジェクトへの参加を第一段階として、現在に至っています。

フィリピン「ケソン州」の市場で当社システムが利用されています



市場の露店風景



当社システムによるデータ入力



当社システムによる事務作業

<当社システム導入による市場運営の改善>

- ① 取引の際の手作業に起因するミスや無駄の削減（取引額、量、品質、在庫数などすべてデータ化）
- ② 仕入から精算までの取引の迅速化
- ③ 生鮮品の廃棄率の減少
- ④ 市場管理者による売買や不正等の監視の強化（取引の履歴データを利用）

データの一元管理の実現

将来はトレーサビリティにも対応可能



2013年9月
JICAとのプロジェクト参加

2014年4月
当社システムを使った市場での試験運用開始

2015年5月
JICAプロジェクト終了
市場に当社システムが採用され、事業は継続

2016年~
フィリピン国内の市場に採用されるようシステムの改善、セールスの展開中

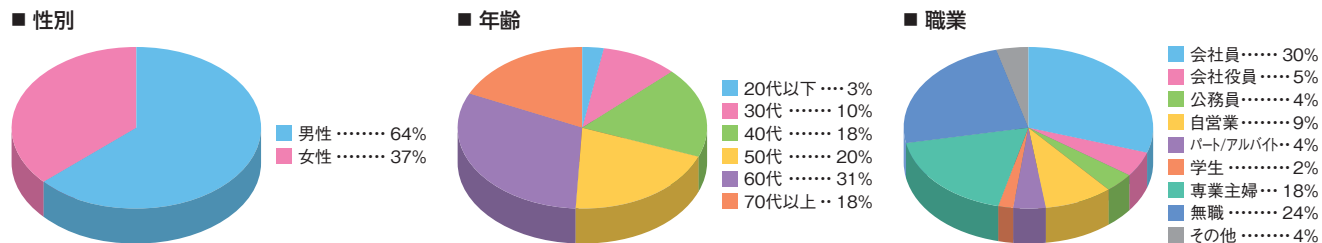
フードバリューチェーンの構築へ

株主広場

株主さまアンケート結果報告

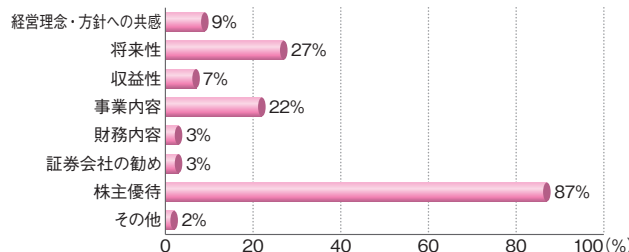
第18期「株主通信」の送付に際して『株主さまアンケート』を同封し、当社の事業や株式に対するご意見を聞かせて頂きました。第18期末の株主様12,707名のうち、**6,027名**から返信を頂きました。返信率**47%**という高い関心をお寄せくださいましたこと、心より御礼申し上げます。当社では、株主様の1人1人のご意見を真摯に受け止め、IR活動の参考とさせていただきます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

ご回答頂いた株主様の属性

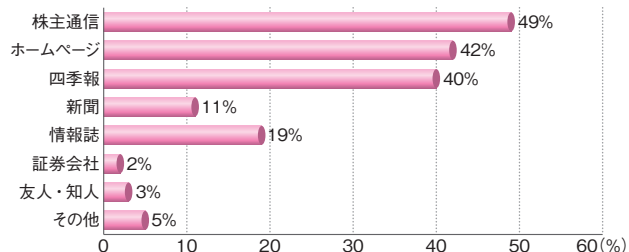


アンケート集計結果

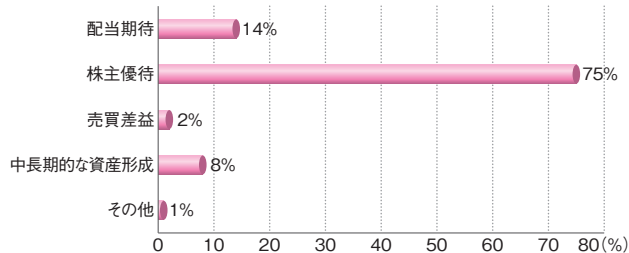
■ 貴方が当社の株式を購入された理由は何ですか？（複数回答）



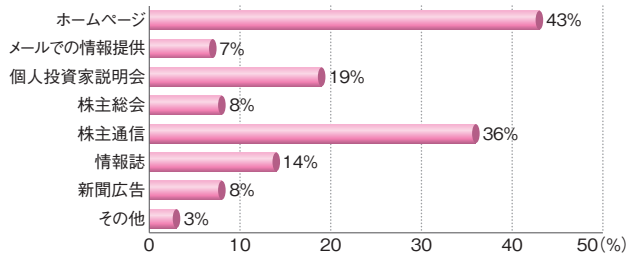
■ 当社に関する情報の入手手段はなんですか？（複数回答）



■ 当社の株式について、どのような保有目的をお持ちですか？（複数回答）



■ 当社のIR活動に充実をもとめるものは何ですか？（複数回答）



コメント紹介

頂いたフリーコメントの中から、代表的なものをご紹介します。

- 将来の配当を期待しています。頑張ってください。
- いつも優待を楽しみにしています。長期保有で応援する予定です。
- 今後の事業内容に期待して、ファンとして応援しています。
- 孫が喜んでりんごを食べます。ジュースもとてもおいしいです。

配当への期待、優待の充実やお礼、当社への応援メッセージなど、多くの激励コメントを頂きました。

- 自社株買いなど、株価向上策を検討してほしい。
- TPPを追い風にして、企業業績の向上を目指してほしい。
- ITにより農業が発展することを望みます。
- 地方での会社説明会を実施してほしい。

株価に関すること、当社の成長や方向性への意見、農業への貢献、その他改善提案など、貴重なご意見も多数頂きました。

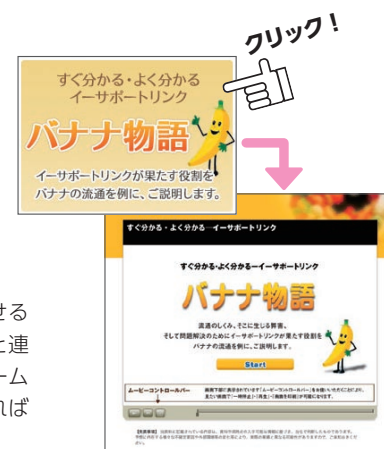
質問への回答

質問 イーサポートリンクの社名の由来を教えてください。

回答 イーサポートリンクは、英字表記では E-SUPPORTLINK となります。情報システムを活用して（E-）生産者と生活者を支援（SUPPORT）するために、川上から川下までの仕入、製造、販売プロセス等を効率的につなぎあわせる（LINK）という思いが込められています。経営理念である「全ては生産者と生活者のために」を実現すべく、事業に取り組んでまいります。

質問 優待目的で御社の株を購入しましたが、そもそもどんなことをされている会社なのですか。

回答 当社の創業ビジネスは、輸入青果物であるバナナなどを日本に効率的かつ安全に流通させる為、自社システムを開発し、バナナ生産者、輸入商社、加工会社、販売会社、運送会社等と連携し、システム提供と業務代行サービスで事業を拡大してまいりました。詳細は、当社ホームページから「バナナ物語」というビデオもご覧いただけますので、ご参考にしていただければ幸いです。



IR活動報告

当社は、経営の透明性を高めるため、情報開示をはじめ投資家向け説明会を定期的に行っています。

- 2016年1月27日（水） 機関投資家向け「2015年11月期 決算説明会」を開催
- 2016年7月21日（木） 機関投資家向け「2016年11月期 第2四半期決算説明会」を開催

説明会資料は、当社ホームページ「株主・投資家情報」の「IRライブラリー」に掲載しておりますので、ご覧ください。

株主メモ

事業年度	毎年12月1日～翌年11月30日
定時株主総会	毎年2月下旬
基準日	11月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に 口座をお持ち の場合	証券会社等に口座を お持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先	お取引引きの 証券会社等に なります。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
各種手続 お取り扱い店 (住所変更等)		みずほ証券株式会社 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の 店舗)でもお取り扱いいたします。 みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店*

*：トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。

公告方法	電子公告(当社ホームページ) ただし、やむを得ない事由によって、電子 公告による公告をすることができない場合 には、日本経済新聞に掲載して行います。
------	---

住所変更手続きについて

当社株式関係書類及び株主優待等ご送付にあたり、ご引越し等により住所が変更となられている場合、お手元に届かないことがございます。住所が変更となる際は、大変お手数ではございますが、なるべく早めに当社株式をお持ちの証券会社にて住所変更手続きをお願いいたします。

イーサポートリンク株式会社

〒171-0033 東京都豊島区高田二丁目17番22号
TEL：03-5979-0666 FAX：03-5979-0667

ホームページのご案内

当社では、「株主通信」ではお伝えしきれない情報をホームページにて開示しています。株主・投資家の皆様に向けて、決算情報、決算説明資料、PR情報など、タイムリーな情報提供を心がけております。ぜひ、ご覧ください。

<http://www.e-supportlink.com/>



UD FONT

本文に見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

